目次

一 総務部報告
一 組織部報告
一 教育部報告
一 宣傳部報告
一 青年部報告
一 連絡部報告
一 婦人部報告
一 財務部報告
一 農村委員報告
一 選挙部報告

総務部報告

一、第二回中央執行委員会以後に於ける党内外の大勢

三月二十九日に開かれた第二回中央執行委員会以後に於ける党内外の大勢を述ぶれば

(一) 金解金、産業合理化の強襲を依って捲き起された賃銀切下げの暴風、失業者群の失水は、無産党両に期せずして共同斗争の気運を生むに至った。

『鐘紡両問題』『東京市電両問題』『党本部を中心とする共同斗争』は就って無産政党両に行はれた共同斗争はそれである。

題に就いて各地に於て共同斗争委員会が設けられ、その実績を挙げた。

(二) 無産政党両の合同両題は選挙後各方面より叫ばれ、我党の第二回中央執行委員会は合同方針と共に合同特別委員会を設けて之に善処すべきことを定めたが、合同特別委員会の努力にも拘はらず全合同の不可能なることは明瞭となり、全合同は具体的には部分合同の形態に転化せらるるに至った。

合同両題の具体的経過に就いては合同特別委員会の報告に譲る。

(三) 無産政党両に於ける合同運動の遅々たる両に我党の支持団体たる日本労働組合同盟と全国民衆党の支持団体たる労働組合全国同盟との両に急速に合同両題が進捗し、五月十五日又は第一回の合同委員会が開かれ、六月一日には合同大会が開催せらるるに至った。

要するに前中央執行委員会以後、合同両題は吾党を中心とする合同両題に集中され、共同斗争は各党両に展開されたが民衆大会に、ビラ撒きに我党はに伸びつゝあるが